

【第1回療育研修会開催報告】

・開催日：令和6年7月27日(土)

・内容：

テーマ『生活の中の作業療法～感覚統合を視点にした保育士と作業療法士の協働～』

<第1部>(10:00-12:00)

講演『こどもの行動理解と支援につながる感覚統合の基礎知識』

奈良県総合リハビリテーションセンター 作業療法士 中井 菜摘先生

<第2部>(13:30-14:30)

講演『感覚統合と保育～感覚統合の視点を取り入れて～』

あいのそのこども園 園長 大久保 めぐみ先生

<第3部>(14:40-16:30)

事例紹介・グループワーク『体と心が育つ楽しい運動遊び』

あいのそのこども園 保育教諭 川島 若葉先生

奈良県総合リハビリテーションセンター 作業療法士 中井 菜摘先生

今年度は、作業療法というと病院や児童発達支援事業所といった限られた場面で行う特別なものという印象をもたれることがあります。そうではなく、日常生活の中に少し作業療法の視点を取り入れることで、子どもたちの育ちを支えていける環境・かかわりの工夫がたくさんあるということをお伝えしたいと思い『生活の中の作業療法』をテーマに研修会を企画しました。

第1回は NARA 感覚統合研究会で活動されている、作業療法士と保育士の先生方に、感覚統合の視点からの保育について講演とグループワークを通して教えていただきました。

第一部では、作業療法士の中井先生より感覚統合について、参加者自身も体験してみることで、わかりやすく教えていただきました。

第二部では、保育士の大久保先生より、作業療法士、保育士それぞれの得意なところをいかして子どものことを理解し行動の意味や原因を考え支援することの必要性を教えていただきました。

第三部では、保育士の川島先生より、実際の運動遊びの動画をたくさん見せていただき、中井先生とともに、どのようなことを考えて活動を取り入れるか、どんな視点で子どもを見守るかなどをお話ししていただきました。後半は新聞紙、タオル、ペットボトルなど身近な物を使ってどのような遊びを考えるか、その遊びはどんな感覚を使うかをグループで話しあいました。

大変興味深く、学びの多い研修会となりました。

・参加人数：75名

・アンケート結果：

<第一部>

● とても参考になった	63
● 参考になった	5
● あまり参考にならなかった	0



<第二部>

● とても参考になった	54
● 参考になった	13
● あまり参考にならなかった	0



<第三部>

● とても参考になった	56
● 参考になった	12
● あまり参考にならなかった	0



・参加者の声（一部）

・感覚統合とこどもの困り感がとてもよくわかりました。実は何に困っているのか、ストレスはどこから発しているのか、こどもにもっと寄り添いたいと思いました。

・感覚統合について、今までほとんど知識がなかったので勉強になりました。こちらにすれば困った行動でも、本人には必ず理由があること、それを今後しっかりと観察分析して理解や対応する必要性があることがわかりました。そしてやってみよう!できた!のサイクルになるよう支援していきたいと感じました。

・生活のなかで、児童たちが見せるつまずき、問題行動の、理由を探るヒントがたくさん詰まった講習会でした。

- ・3人の先生方のお話すべてに具体的な実践例がふんだんに紹介されており、とても参考になりました。子ども達の行動を、もっと感覚統合の視点を持って、考えられるようにしていきたいです。ありがとうございました。
- ・保育士と作業療法士が連携していく上で必要な情報をどのように伝えていくのか、どのように保護者や地域で育ちを支援できるのかを知ることができました。
- ・感覚統合についてあまり知識がなかったが、1部で講演を聞き、最後にグループワークをしたことで、より理解できた。保育でも取り入れていきたいこともたくさん見えてきて、大変学びの多い1日になった。
- ・自分の受け持つこどもたちの特性が様々で、濃く、お互い辟易してしまっていたので、今回の勉強会を通して感覚統合がどのようなものなのか、ようやく理解できました。運動遊びの実例も見れて、勉強になりました。自分の保育に早速取り入れていきたいです。
- ・実際にどんなことをしているのかを映像で見せていただき、とても参考になりました。
- ・グループワークの時間がもう少しあるとよかった。
- ・グループ討議では、いろんな遊びを知ることができ、今後保育に取り入れていきたいと感じた。
- ・他職種からの目線や、考え方を知ることができた。

